

令和8年度 最新出土考古資料展

今年度は、印旛郡内の発掘調査で出土した遺物を集めた「最新出土考古資料展」を開催します。

近年、印西市の西ノ原第1遺跡では石器や剥片が集中して出土し、石器製作址の様相が明らかになってきています。佐倉市の神楽場遺跡からは多数の縄文時代中期から後期の土器が確認でき、大形の土器とミニチュア土器が同じ土坑から出土しています。また、四街道市の馬場No. -1遺跡からは生活用品の甕や甑(こしき)をはじめ、墨書土器など祭祀で使用されたと考えられる遺物が出土しました。

ぜひ実物を間近でご覧いただき、当時の生活を思い浮かべて頂けたらと思います。

今回の展示が皆様の埋蔵文化財に対する興味をもっていただける一助となれば幸いです。

西ノ原第1遺跡(印西市)

石 器



神楽場遺跡(佐倉市)

ミニチュア土器



神楽場遺跡(佐倉市)

土製円盤



馬場No. -1遺跡(四街道市)

墨書土器「否」

